

第 62 回日本糖尿病学会関東甲信越地方会会長就任のご挨拶

この度、第 62 回日本糖尿病学会関東甲信越地方会会長を拝命致しました、獨協医科大学内科学（内分泌代謝）の麻生好正です。ご推挙いただきました日本糖尿病学会関東甲信越支部役員の先生方をはじめ、評議員の先生方、そして関係の皆様へ深く感謝申し上げます。伝統ある本会を担当させて頂き、大変光栄に存じます。

私が糖尿病合併症の臨床研究に長年携わってきたこと、また「糖尿病性神経障害を考える会」の世話人を務めさせて頂いていることなどから、学会のメインテーマとして、「糖尿病合併症の予防および進展阻止」を掲げたいと思います。それに関連するシンポジウムを企画し、特に、新規糖尿病治療薬である SGLT2 阻害薬、GLP-1 受容体作動薬、GIP/GLP-1 受容体作動薬の心、腎保護作用、加えて、NAFLD/NASH の改善作用などについて白熱した議論のできる会にしたいと願っております。

2025 年 1 月の土日での開催になりますが、その頃には、新型コロナウイルス感染症の対応が終結して、全面的に対面での開催が可能になっていると確信しております。北関東の地での開催となれば、2005 年 1 月の茨城県つくば市以来 20 年ぶりとなりますので、是非、栃木県宇都宮市での開催を実現したいと思っております。

評議員の先生、会員の先生方のご協力、ご支援を賜り、教室全員、一致団結して、充実した学会になるべく鋭意努力致します。多くの会員の皆様と宇都宮市の学会場でお目にかかれることを楽しみにしております。

獨協医科大学内科学（内分泌代謝）麻生好正